教育のぼりべつ

平成２９年
7月1日号
NO,１５

発行　登別市教育委員会　0143－88－1100　　〒059-0014　登別市富士町7丁目33番地

鷲別小学校の校舎落成





明るい日ざしが差込む校舎

校舎の老朽化にともない、平成２７年から建て替え工事が行われてきた鷲別小学校の新校舎が完成し、４月から新しい校舎での教育活動が開始されました。

新しい校舎は、子どもたちの笑顔でいっぱいです。



内覧会の様子（5月24日）

元気いっぱい運動会



5･6年生の組体操

６月３日（土）、市内小学校の先頭を切り、青葉小学校で運動会が開催されました。青空の下、子どもたちは、多くの保護者や観客からの声援を受け、はりきって競技に参加していました。

ふれあい農園の「田植え」



田植え（5月28日）

幌別中学校区の学校支援地域本部事業として、「ふれあい農園」で田植えが行われました。子どもたちは、はだしになって田んぼに入り、貴重な体験に瞳を輝かせながら苗を植えていました。

平成２９年度 登別市の教育

市民一人ひとりが世の中の課題に対して、学び（自立）・考え（創造）・力を合わせて（協働）、生涯学び続けることにより、幸せな人生を送ることができるまちを目指します。（登別市教育大綱の基本理念より～平成28年7月策定）

教育委員会では、現在の国の教育施策や昨年度策定された登別市教育大綱※等を踏まえ、本年度の教育行政執行方針を策定しています。具体的な内容につきましては、「広報のぼりべつ」等でお知らせしていますので、ここではその要点について紹介します。

※ 登別市教育大綱は、時代を見通した計画的・効果的な教育施策推進のために市が策定し、10年一区切りで内容の見直しが図られます。

学校教育

○「地域とともにある学校づくり」（コミュニティ・スクール）

・地域の様々な意見を反映した学習活動や土曜授業の実践
・地域の教育資源を生かした世代間交流や郷土学習の充実
・教育フォーラムの開催などを通した地域と協働の教育の推進



○確かな学力の向上

・登別市教育課程課題検討委員会による指導方法の工夫改善や学習習慣定着の取組
・放課後学習教室などを通した基礎的学習内容の定着や学ぶ意欲向上のための取組

○英語教育

・コミュニケーション能力の育成や異文化への理解を深めるための外国人英語指導助手を活用した小学校低学年から中学校までの一貫した取組 ・英語指導助手サポート体制の充実

○教職員の指導力の向上

・北海道教育委員会指定の学校力向上に関する総合実践事業の成果の市内各校への還元 ・登別市教育実践研究奨励校の指定や登別市教育研究会の活動を奨励した指導方法の工夫や「主体的・対話的で深い学び」の実現

○豊かな心の育成

・自然体験や社会体験、ボランティアの活動を奨励した思いやりの心や規範意識等の醸成 ・「特別な教科 道徳」の充実のための指導資料の提供や研修機会の充実

	学校名	児童生徒数	昨年度比 増 減
小学校	鷲別小学校	296人	＋ 3人
	若草小学校	320人	－ 6人
	富岸小学校	447人	－10人
	青葉小学校	304人	－14人
	幌別西小学校	306人	±0人
	幌別小学校	272人	－19人
	幌別東小学校	83人	＋ 3人
	登別小学校	158人	－10人
中学校	鷲別中学校	302人	＋16人
	緑陽中学校	396人	－34人
	西陵中学校	154人	－14人
	幌別中学校	194人	－17人
	登別中学校	82人	－ 8人
小中学校合計		3，314人	－110人

○体力の向上・食育の充実

・１校１実践や新体力テスト活用の促進
・体育コーディネーター派遣事業の実施
・食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための栄養教諭を中心にした教育活動全体を通しての食育の充実

社会教育

「知の循環型社会」の構築を推進していくとともに、市民一人ひとりが、健康で安心できる生活の中で、生きがいを持って自分らしさを追い求めることのできる生涯学習社会の実現
（第５次登別市社会教育中期計画「策定の趣旨」より）

学校支援地域本部



鷲別中学校区昔遊び集会

これまでの活動を充実させながら「地域学校協働本部」として発展させる。

・ふるさと学習の充実・家族の時間づくりプロジェクトの取組
・通学合宿、放課後子ども教室の継続
・青少年の健全育成のための青少年センターを中心とした関係団体との連携、不審者対応
・図書館ビジョンの策定

文化・スポーツの振興

登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会などの各種団体と連携した市民の文化活動への参加や芸術の鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ大会開催の取組



シリーズ 現在の学校教育 3 道徳の時間の充実


道徳の授業（幌別中学校）

現在、道徳教育の大切さが改めて注目されるようになりました。国では平成２６年の中央教育審議会から答申された「道徳を特別の教科に」を受け、平成２７年には学校教育法施行規則を改正し、これまでは教科ではなかった道徳を「特別な教科 道徳」として位置付けました。

こうした流れを受け、現在、市内の各学校では新たな道徳教育の推進に向けた研究が盛んに進められています。

平成26年2月17日
中央教育審議会答申より

○道徳教育の充実は、我が国の教育の現状を改善し、今後の時代を生き抜く力を一人一人に育成する上での緊急課題であること

○道徳的実践力を育成するための具体的な動作を取り入れた指導や問題解決的な指導等の充実（一部抜粋）


道徳の授業（幌別小学校）

文部省専門家会議の報告書が例示した「質の高い多様な指導方法」の要約

① ＜自我関与＞読み物教材の登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考え道徳的価値の理解を深める

② ＜問題解決的な学習＞生きる上での様々な問題について児童生徒自身の考えの根拠を問い、思考させる

③ ＜体験的な学習＞役割演技などで実感を伴って理解することを通し、問題を主体的に解決する力を養う

考え、議論する道徳

「研究のまとめ」（幌別中）

「考えなさい」「説明しなさい」から、より具体的な文言で指示をすることにより、主体的な学習につながった。

今後は、教材研究の視点や発問の精選等に取り組み、平成３１年度から全面実施となる「特別な教科　道徳」への移行を進めたい。


グループごとの話合い

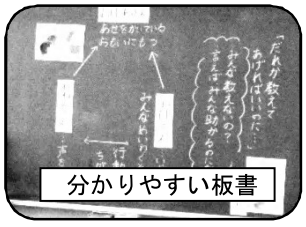
「道徳の授業の工夫」（幌別小）

１　子どもたちの興味・関心の喚起

事前アンケートを活用し、日常の実態から授業を始めた。大型テレビで視覚に訴えることは、効果が大きかった。

２　交流の工夫

同じ立場の友だちとの話合い（交流・議論）でも、理由に違いがあることに気付き、考えの深まりにつながった。


分かりやすい板書

３　確かな授業のまとめ

１枚のワークシートの繰り返しの活用で自己の内面を言語化することができた。そのことにより、自分の考えの変容に気付くことができた。

研究内容や研究方法には学校ごとに違いがありますが、市内すべての小中学校で新しい道徳の授業の創造に向けた研究が進められています。

笑顔にあふれた学校づくり

市内各小中学校の「いじめをなくす」取組の紹介


生徒会から集会の趣旨説明

6月7日(水)、緑陽中学校で「いじめ0(ゼロ)集会」が開催されました。この集会は生徒会が中心となり、「いじめは絶対に許さない」という全校生徒みんなの意識を高めていくことがねらいです。

集会では、生徒会が示した「いじめの線引き」というテーマでグループごとに話合いが行われ、最後に濱野さくら生徒会長から「いじめをなくす雰囲気をつくり、いじめがあれば互いに注意し合える学校にしていきましょう。」という力強い呼びかけがありました。

こうしたいじめをなくす取組は、市内すべての小中学校で進められています。本号では幌別東小学校と幌別西小学校の取組について、その概要を紹介します。(他校の取組については、引き続き本紙16号、17号で紹介します。)

学校名	活動の名称	活 動 の 概 要
幌別東小学校	いじめのない学校	「いじめのない学校」を児童会のスローガンとして定め、年間を通して各専門委員会すべてが必ず一つ「いじめの未然防止」につながる取組を実施 ＜三役・代表委員会＞朝のあいさつ運動、キラキラ輝くあいさつメッセージ、風船バレー大会　＜文化委員会＞読書週間の中で「いじめに関する本の読み聞かせ」「読書クイズ大会」等の実施
幌別西小学校	西陵中学校との合同挨拶運動	11月はじめの1週間、小学校の児童会と中学校の生徒会役員が週の前半は小学校、週の後半は中学校の校門に並び、登校してくる児童生徒へ挨拶の呼びかけ（相手を尊重する心を育む）
	いじめ防止メッセージ・川柳コンクール	メッセージ(1年生)や川柳（２～６年生）作成を通し、いじめは絶対に許さないという意識を学校全体で高める取組～学級委員会で学級ごとに最優秀賞を選び玄関前に掲示

第３４回 登別市少年の主張大会

６月６日（火）緑陽中学校を会場に、市内の中学校５校と明日中等教育学校（前期課程）の合計６校の生徒が参加し、「第３４回登別市少年の主張大会」が開催されました。

出場者は、各中学校から2名ずつ選ばれた１２名。今年の最優秀賞には、緑陽中学校３年の及川けいさんが選ばれました。

及川さんは、『心の声で』という主張題で、日ごろの自分自身の行動を「自己肯定感」という視点から深く見つめ、自分の心の声を大切にして生きることにより積極的な生き方をしたいと堂々と主張しました。




最優秀賞に選ばれた及川さん

及川さんは、７月に開催される胆振大会に出場します。

※　今年の入賞者は、以下のとおりです。

最優秀賞	緑陽中学校	３　年	及川　けい
優秀賞	明日中等教育学校	３回生	吉井　　陸
奨励賞	幌別中学校	３　年	安部　由乃
努力賞	西陵中学校	３　年	佐藤　音々

幌別小学校の土曜授業

幌別小学校　学校の教育目標

○ すすんで学び、よく考える子
○ 互いに助け合い　思いやる子
○ 丈夫な体で、たくましく生きぬく子

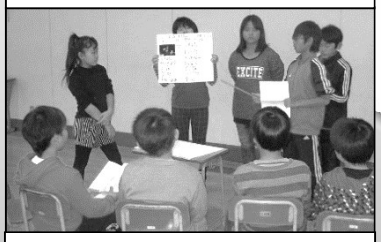
幌別小学校では、「休日の生活リズムの維持」「保護者・地域の皆様へのより多様な学校公開の推進」「地域連携による体験学習の実施」を目的に、「全校短縄チャレンジタイム」「全校一斉公開道徳」等を土曜授業として実施しています。コミュニティ・スクール事業と関連させながら、学校の教育活動を積極的に公開し理解を深めていただくことで、保護者・地域・学校の連携をより強固なものにしています。

全校短縄チャレンジタイム



体力づくりの一環として取り組んでいる短縄の実践を公開しています。家庭での運動習慣啓発も目指しています。

修学旅行プレゼンテーション



相手を意識した表現力の向上を目指し、6年生が5年生に向け、修学旅行での学習の成果を発信します。

ケータイスマホ安全教室



外部講師を招き、安全なメディアツール活用について学びます。保護者の皆様に向けても実施しています。

登別中学校の土曜授業

登別中学校　学校の教育目標

○ すすんで学び　正しく判断する
○ 思いやりを持ち　厳しさに耐える
○ 命を大切にし　心身を鍛える

登別中学校では生徒の豊かな心を育むため、土曜授業を活用しています。地域への貢献、地域行事への参加を通して、生徒の郷土への誇りや愛着を育みます。地域人材の外部講師としての招聘は、地域社会の担い手として主体的に行動できる生徒の育成と同時に、伝統・文化の伝承にもつながり、本校の特色ある教育活動を支える要となっています。



町内クリーン作戦

学校周辺を歩きながら、通学路や学校近隣の清掃活動を行います。



地獄まつりオリエンテーション

地獄まつりに向け、地域の歴史や伝統芸能『熊舞』について、外部講師から学びます。



認知症キッズサポーター養成講習会

認知症に対する理解を深め、認知症患者への正しい接し方について学びます。

平成２９年度　第Ⅰ期・第Ⅱ期 通学合宿

なかよくしっかり 協力・規則正しい生活・自主性 生活することができました


バスの中


開村式


集中して勉強


焼きいも体験

通学合宿は、小学校５・６年生を対象に、テレビやゲームから離れ、他校の児童と共同生活をする中で、「自分のことは自分でする」「状況に応じて判断し行動する」「規則正しい生活を送る」など『生きる力』の大切な要素である自主性や協調性、適応能力などを伸ばすことを主な目標として実施しています。

第Ⅰ期は、5月9日（火）～13日（土）、第Ⅱ期は、5月23日（火）～27日（土）に行われました。

子どもたちは、決められた時間の中での学習や食事はもちろんのこと、夜の森の探検・焼きそば料理体験・焼きいも作りといった普段の生活の中ではなかなか体験することのできないプログラムにも、他校の友だちと一緒に笑顔いっぱいで参加していました。



＜今後の通学合宿の予定＞

今年度から通学合宿は、これまでの年４回から年３回の実施となりました。今年度最後となる第Ⅲ期の通学合宿は、市内全小学校（８校）の５・６年生を対象に実施します。期日は、１１月７日（火）～１１日（土）の５日間です。

詳しい内容は、実施日が近づきましたらプリントでお知らせします。

教育委員会の動き

第１回 教育委員会　4月27日（木） 16:30

議　事

報告第１号
教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理について

議案第１号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について

＜情報提供＞

・平成２８年度学校運営協議会実施状況について
各学校年間3～5回開催　登別小中は１１月に合同で開催　地域とともにある学校づくりが進んでいる

・平成２９年度登別市立学校児童生徒・学級数調査について
4月１日現在児童生徒数
小学校で２１８７人　前年同期比－５２人
中学校で１１２８人　前年同期比－５７人

・平成２９年度登別市立学校主要行事について
修学旅行　小学校全校９月実施（函館方面）
中学校全校５月実施（東北方面）
家族の時間づくりプロジェクト
１月２６日～２８日（最終年度）

・平成２９年度学校施設の工事計画について
鷲別小学校の外構整備とグラウンド整備
富岸小学校地下タンク改修工事・鉄棒の取替工事
登別中学校耐震改修工事と渡り廊下改築工事・便所洋式化工事
西陵中学校校舎屋上防水改修工事

・平成２９年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役等について

・鷲別小学校旧校舎内覧会について

・第４２回登別こいのぼりマラソンについて

・不登校児童生徒の状況について

＜質疑応答＞

Q：耐震改修工事の今後の計画は

A：平成32年に完了予定。30年度に富岸小、30年度と31年度に幌別西小、31年度に登別小、32年度に幌別東小と幌別中を行う。

Q：登別市の不登校出現率は減少傾向にあるとのことだが、全道・全国的にはどうか。

A：26年度と27年度を比べると、小中とも微増
コミュニティスクールの取組も不登校減少に効果があるのかもしれない。

第２回 教育委員会　5月25日（木） 16:30

議　事

報告第２号　教職員の懲戒処分内申の結果について
議案第２号　登別市立図書館協議会委員の任命について
議案第３号　登別市社会教育委員の委嘱について
議案第４号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について
議案第５号　登別市重大事案対策委員会委員の委嘱について

＜情報提供＞

・運動会の割り振りについて

・未成年者の喫煙防止に向けたリーフレット（市校長会・室蘭警察署・市教委で作成）紹介

＜視察＞

・通学合宿「のぼりべつ・子ども村」

＜感想＞

ボランティアの方々の協力があってなりたっているもの。大変ありがたい。生活の改善に向けて子どもたちが考えるいい機会。これからも続けてほしい。

教育相談電話（いじめ・不登校　等）　85－0085（月～金）9:00 ～ 17:00